

3 漢口水害救済問題

996 昭和6年7月25日 在中國重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛（電報）

揚子江氾濫による水害状況につき漢口総領事
より報告

上海 発

本省 7月25日後着

漢口發本官宛電報

第六八六號

外務大臣へ轉電アリタシ

合第五二號

第四八八號

本月初旬以來^(第9)揚子江上流地方一帶ニ亘リ豪雨續キタル結果
當地水標四十一呎ヲ超ヘ「バンド」一部ノ浸水ヲ見ルニ至
リ尙刻々増水ノ傾向アル處萬一漢水ノ堤防決壊セハ漢口市
ノ北方ヲ含ミ夏口○縣ハ大部分泥海トナルヘク既ニ省内各縣
中浸水セル地方多ク殊ニ濱湖方面ノ氾濫著シ模様ニテ農
作物ノ被害大ナルモノノ如キモ交通通信杜絶ノ爲詳細ヲ知

悉シ難シ省政府當局ハ罹災委員會ヲ設ケ被害農村ノ救濟及
救護ヲ開始シ中央ニ費用支給方專請スル一方軍隊ヲシテ漢
水及本流ノ主要個所ノ堤防ヲ防護セシメツツアリ
支ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ
支、北平、天津へ轉電シ

長沙、重慶、沙市、宜昌、鄭州へ暗送セリ

997 昭和6年7月30日 在漢口坂根總領事より幣原
幣原外務大臣宛（電報）

漢口地方の水害状況および中國側當局の対応

について

別電 七月三十一日着在漢口坂根總領事より幣原

日本租界の状況について

漢口 7月30日後発

本省 8月2日前着

外務大臣宛第五〇三号

第五〇二號

往電第四九六號ニ關シ

其後^(第10)揚子江ノ水量ハ引續キ增加シ廿九日ニ至リ水標ハ實ニ

五十呎五ヲ突破セムトスルノ形勢ヲ示シ武昌側ニ於テハ廿
八日南湖ノ堤防決潰ノ結果市中ノ大部分浸水シ流失家屋多
數^(第11)出來死者數百名ヲ出シ漢陽モ山ノ手ヲ除ク外全部浸水六
七尺程度ニ達シタルカ漢口ニ於テモ市中最モ繁華ナル中國
街ヲ始メ郊外一帶ニ亘リテ殆ト全部浸水シ佛國租界並ニ舊
英獨露各租界モ防水方法慨シテ手遲レトナリタル爲中途ヨ
リ工事ヲ拠棄スルニ至リ何レモ平均四五尺見當ノ浸水ヲ見
目下市中ニテ浸水ヲ免レ居ルハ僅ニ舊城壁上ノ街區ノ外ハ
日本租界アルノミ（周圍ハ約四尺見當ノ浸水ナルモ土囊及
堰ヲ以テ浸水ヲ防キ居レリ）從テ市中ノ大部分ハ舢舨ニ依
リ交通スルノ外ナキ狀態ナル處天候回復ト同時ニ昨廿九日
中武漢ノ上流及下流ニ於テ堤防決潰ノ箇所少ナカラサル模
様ニテ昨日以來多少減水ノ徵候現ハレタルモ武長鐵道ハ廿
八日以來不通トナリ平漢線亦依然車輛ノ運轉不可能ナリ當
地各地間ノ陸線電報ハ數日來順次不通トナリ今ヤ全部中國
件無線ニ依ルノ外ナク本邦商人中上海ニ取引先ヲ有セサル向
ハ本邦へ電報ノ方法ナク困却シ居レリ市内ノ交通前記ノ如
ク殆ト杜絶ノ狀態ナル爲昨廿九日以來當地郵便局ハ小包郵
便物ノ受取ヲ停止セリ

武漢警備司令部ハ水害防備ノ爲十三及十四、十八師ノ軍隊
ヲ出動セシメ救護ニ努ムル一方市中ニ「共產黨員力堤防ヲ
破壞セリ」等ノ謠言盛ナルニ鑑ミ機ニ乘シ不逞分子ノ策動
スルヲ防ク爲廿九日夜特別戒嚴令ヲ布キ秩序ノ維持ニ努メ
省政府當局ニ於テモ武漢三鎮ニ夫々防水救護事務所ヲ設ケ
タルカ尙何成滬ハ近縣地方ノ水害愈甚タシキ爲再ヒ中央政
府ニ電請シテ救濟金ノ支出ヲ求ムルト共ニ差當リ罹災民救
護ノ爲抵代附加稅ヲ擔保トシテ漢口商（會）中國側銀行團
ヨリ廿九日三十萬弗ヲ借入レ之ヲ以テ貧民ニ食料ヲ供給ス
ルコトトナレル趣ナリ日本租界ノ狀況ニ關シテハ別電第五
〇三號ノ通

公使ヨリ上海へ轉報アリタシ

前顯往電ノ通轉電暗送セリ

（別電）

漢口 発

本省 7月31日前着

本月二十八日午後五時頃當地日本租界ノ東方下手ニ當ル平

漢鐵路引込線ノ一部決壊セル爲其外方ニ氾濫セル河水ハ忽

チ猛烈ナル勢ヲ以テ各地租界方面一帶ノ民屋ヲ屋根迄浸シ

次テ平和街方面ヲモ一面ノ泥海ト化セル爲一時日本租界ニ

數千ノ中國人避難民殺到シ之カ整理ニ鮮カラス困難ヲ感シ

タルモ幸ニ事無キヲ得タリ當時既ニ租界ハ楊子江水面下四

尺以上ニアリタル爲豫テ用意シタル民團側ハ右引込線決壊

ノ報ニ接スルヤ敏速ニ土囊ヲ以テ浸水ヲ喰止メ爾來邦人男

子ノ總動員ヲ行ヒ更ニ海軍側ヨリモ一部水兵ノ應援ヲ得日

夜協力防水ニ努メタル結果現ニ日本租界ノミ浸水ヲ免レ居

リ天候回復ト共ニ多分之以上ニ増水ヲ見ルコトナカルヘキ

見込ナリ此間租界内居住中國人ヨリモ進ミテ應援ヲ申出ツ

ル等ノ珍ラシキ事實モアリ右邦人ノ周到ナル注意ト敏活ナ

ル行動ト更ニ一致團結シテ晝夜ノ防水ニ努メ居ル熱心振ハ

相當ニ當地中外ノ賞讃ヲ博シ居ルモノノ如シ何等御参考迄

昭和六年八月八日

在漢口

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

水害關係領事團會議開催ノ件

當地未曾有ノ大水災ニ關シテハ屢次電報ノ通リナル處中國

側ノ防水、救護及防疫措置ヲ鞭撻スル趣旨ヲ以テ本月四日

當館ニ緊急領事團會議ヲ召集シ英米佛伊獨領事館會合現在

當地ニ蝟集シ來レル罹災民ノ數十萬ヲ超ヘ之ニ市内ノ罹災

者ヲ加フルトキハ當市罹災難民ノ數實ニ三十萬ニ達スル情

況ニシテ惡疫流行ノ危險甚大ナル上治安維持上ニ於テモ將

又外國人ノ生命財產、保全上ニ於テモ由々數キ大問題ナル

ニ付別紙甲號(省略)ノ領事團會議議事錄ノ通り領事團トシテ此

際中國側當局ノ注意ヲ喚起シ嚴重ノ取締ヲ要望スルト同時

ニ速ニ適切ナル救護及保健ノ措置ヲ構セシムル様刺戟ヲ與

フルコト可然ト言フニ意見ノ一致ヲ見タル結果本官ハ美國

總領事同伴武漢警備司令部ニ司令夏斗寅ヲ往訪シ右ノ趣旨

ヲ申入レタルニ夏ハ別紙乙號(省略)會見錄ノ通り領事團側ノ配意

ヲ深謝シタル上既電ノ通り種々水災情況並ニ官憲側ノ措置

998 昭和6年8月8日 在漢口坂根總領事より

幣原外務大臣宛

機密第八六二號

(8月31日接受)

漢口水害に関する領事團會議について

ノ活動振ニ關シ追報越セリ

尙乙號(省略)會見錄ノ外國人側ノ救濟金寄附方ニ關スル中國側希望ニ關シテハ邦人商社ニモ弗々寄附ノ勸誘アリ趣旨トシテハ甚タ結構ナルモ是迄此種寄附金ノ使途ニ獻キ兔角ノ非難アリタルニ鑑ミ本邦人側ハ當地日本商工會議所ヲシテ適宜寄附金ノ募集ヲ爲サシメ(居留民團當局ハ目下日本租界ノ防水等ノ事務ニ忙殺セラレ居ル爲)中國側ニ於テ寄附ヲ受

ケ得ヘキ正當ナル財團法人乃至機關ノ成立ヲ見ル迄之ヲ保留シ置クコトハナレリ右ハ中國側ニ於テモ現ニ慈善會、總商會救賑會等ニ於テモ寄附金ヲ募集シ居リ且又湖北省政府トシテモ既電ノ通り堤工附加稅收入ヲ擔保トシテ在漢口中國側銀行團ヨリ三十萬元ヲ借入レ之ヲ救濟資金ニ充當シ居ル等ノ關係ヨリ姑ク模様ヲ見定ムル方可然ト思料シタル次第ナリ

右報告ス

公使、北平、天津、上海、廣東、南京、九江、長沙、

本信寫送付先

999 昭和6年8月17日 在上海村井總領事より

幣原外務大臣宛(電報)

排日貨運動對策の一環として漢口地方水害救

第四一四號
上海 8月17日後發
本省 8月17日後着

長江沿岸各地特ニ漢口九江蕪湖等ニ於ケル水害ハ最近數十年間未曾有ノモノナルカ如ク傳ヘラレ其被害甚大ナルハ各方面ノ情報ニ依リ既ニ御承知ノコトト存スル處關東震災ノ際我方ノ支那側ヨリ受ケタル同情並ニ援助ニモ鑑ミ此ノ際我方モ相當ノ援助ヲ辭スル能ハサルヘキニ付當地外人方面ニモ弗々義捐金募集ニ取掛リ居リ又此ノ種ノ舉措ハ早キ程目ニ立チ效果モ大ナルヘシト存セラル、ニ付排日貨運動抬頭セル此ノ際其對策ノ一トシテモ御考慮ヲ加ヘラレ右運動促進方御配慮ヲ得ハ幸ナリ思付ノ儘卑見申進ス

1000 昭和6年8月18日

在ニューヨーク首藤（安人）商務書記官より
幣原外務大臣宛（電報）

中国政府が水害被災民救済のため米国政府保有小麦を長期決済条件で買入申込みとの新聞報道について

ニューヨーク 8月18日後発

本省 8月19日前着

第六〇號（商電）

十八日新聞報道ニ依レハ中國政府ハ水災地方民救済ノ爲米國政府保有小麥ヲ長期決済條件ニテ買入方正式ニ申込ヲナシタル趣ナリ數量價格其他ノ條件等不明ナルモ數量ハ一億又ハ五千萬「ブツシエル」ナルヘントモ傳ヘラル此ノ種報道ハ從來屢傳ヘラレシモ長期決済ニ必要ナル保證ノ問題力常ニ障害トナリタルモノノ如ク今回ノ申込ヲ假ニ五千萬「ブツシエル」トスルモ現在ノ市價ニテ略二千五百萬弗トナリ之カ決済條件ノ折合ハ問題ナルヘシ唯米國側カ其保有小麥ノ處分ニ腐心シ居ル際トテ如何ニ本件ヲ考慮スヘキヤ市場ニテハ相當注目シ居レリ

1001 昭和6年8月19日

在中国重光公使より
幣原外務大臣宛（電報）

水害救済のため宋子文を委員長とする水害賑災委員会設置について

上海 8月19日後発

本省 8月19日後着

貴電第二九九號ニ關シ

水害救済ニ付テハ民國側モ相當重要視シ居リ曩ニ宋子文ヲ委員長トスル救濟委員會ヲ設立シタルカ宋ハ先ツ下準備トシテ總稅務司「メーズ」ヲ長江各港ニ派遣シ視察セシムルコトシ「メ」ハ昨今漢口ニ到着セル筈ナリ尙宋ハ外國人方面ヲモ委員會ニ關係セシメ國際的ノ聯絡ヲ計リ度キ意向ナル趣ニテ日本人側ニモ參加ヲ申込アリタリ委員會側ヨリノ聞込ミニ依レハ外人側モ相當好意的ニ之ヲ考慮スル模様ナリトノコトナリ尤モ宋ハ今日迄母堂葬儀ノ爲取込ミ居リ未タ是等ノ仕事ハ緒ニ就キ居ラサル模様ナルカ今後右カ進捗スルニ連レ更ニ狀況報告致スヘシ

漢口ヨリ九江、沙市、重慶、長沙へ轉報アリタシ
北平、奉天、漢口、蘇州、南京、蕪湖へ轉電シ
上海へ轉報セリ

1002 昭和6年8月22日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛（電報）

中国人被災民に対する天皇陛下による救恤金

に対し宋子文謝意表明について

上海 8月22日後発

本省 8月22日後着

第七八三號

貴電第三〇七號ニ關シ
一、天皇陛下ヨリ救恤金御下賜ノ報道ハ二十二日内外各新聞ニ掲載セラレ一般ニ非常ナル感動ヲ與ヘタリ宋子文ハ早速間接ニ本官ニ謝意ヲ傳ヘ來レリ尙總テノ救恤基金ハ民國委員會ハ米人「ベーカー」ノ視察報告ヲ待チテ救濟方法該委員會ニテ處理シ度キ意図ノ由ニテ右ハ適當ト思ハル處ニ付協議スルコトトナリ居リ未タ充分具体的計畫立チ居ラ

サル如シ（日本側ハ先方ノ希望ニ依リ船津、金井、大村、
九 杂 件

派遣方ライヒマンよりドラモンド事務総長へ

要請の旨杉村次長内報について

置ケルモ右不取敢

英、米ニ轉電シ佛ニ轉報セリ

第一一二號

パリ 8月24日後発
本省 8月25日後着

杉村次長ヨリノ内報ニ依レハ目下渡支ノ途次米國旅行中ノ「ライヒマン」ヨリ支那洪水ニ伴ヒ起ルヘキ疾病處理ノ爲聯盟保健機關指導ノ防疫委員急派方支那當局ヨリ電請アリタル趣ヲ以テ右至急措置方「ドラモンド」宛電報アリ「ド」モ支那ニ於ケル外國人居居住地域及同國隣邦ヘノ疾病傳播防止ハ最大急務ナリトナシ去ル二十一日不取敢英國印度省大臣ニ對シ右委員支那派遣費用支出方同省ニ於テ詮議アリタキ旨並ニ日本「印度支那」蘭領印度「マレー」聯邦ヨリモ同種委員ヲ派遣スルニ至ラン事ヲ希望シ居ル旨ノ私電ヲ發シ本件ニ關スル英國政府ノ考慮ヲ促シ居ル趣ナリ尙「ラ」ハ米國ニ於テ本件ニ付同國政府ト何等打合ヲ爲シ居ル由本件ニ付テハ本邦トシテモ關係スル處鮮カラス當局ニ於テモ或ハ既ニ何等御考慮中ノ事カトモ察セラレ旁右杉村次長トモ話合ノ上本件今後ノ進展振り隨時内報方同次長ニ依頼シ

杉村次長ヨリノ内報ニ依レハ目下渡支ノ途次米國旅行中ノ「ライヒマン」ヨリ支那洪水ニ伴ヒ起ルヘキ疾病處理ノ爲聯盟保健機關指導ノ防疫委員急派方支那當局ヨリ電請アリタル趣ヲ以テ右至急措置方「ドラモンド」宛電報アリ「ド」モ支那ニ於ケル外國人居居住地域及同國隣邦ヘノ疾病傳播防

止ハ最大急務ナリトナシ去ル二十一日不取敢英國印度省大臣ニ對シ右委員支那派遣費用支出方同省ニ於テ詮議アリタキ旨並ニ日本「印度支那」蘭領印度「マレー」聯邦ヨリモ同種委員ヲ派遣スルニ至ラン事ヲ希望シ居ル旨ノ私電ヲ發シ本件ニ關スル英國政府ノ考慮ヲ促シ居ル趣ナリ尚「ラ」ハ米國ニ於テ本件ニ付同國政府ト何等打合ヲ爲シ居ル由本件ニ付テハ本邦トシテモ關係スル處鮮カラス當局ニ於テモ或ハ既ニ何等御考慮中ノ事カトモ察セラレ旁右杉村次長トモ話合ノ上本件今後ノ進展振り隨時内報方同次長ニ依頼シ

廿五日宋子文ト會見シタル處宋ハ先ツ新聞情報等ニ依レハ日本天皇陛下ニハ民國ノ水災ニ御同情ヲ賜ハリ救恤金ヲ御下附アラセラルトノコトナルカ右ハ自分始メ民國側ニ非常ナル感動ヲ與ヘタリト述ヘタル上尙自分ノ管理スル救濟委員會ハ内外人ヲ網羅シ廣汎ナル組織ヲ有シ民國政府ノ正式任命ニ係ルモノナルカ若シ日本天皇陛下ノ御救恤金等力同會ニ御交附アルコトモナラハ感謝ノ意ヲ表スル(二字分アキ)モ有效適切ノ處置ヲ執ルヘシト述ヘタリ

右ニ對シ本官ハ今回ノ水害ニ對スル日本ノ同情ハ全ク自發第七九二號

杉村次長ヨリノ内報ニ依レハ目下渡支ノ途次米國旅行中ノ「ライヒマン」ヨリ支那洪水ニ伴ヒ起ルヘキ疾病處理ノ爲聯盟保健機關指導ノ防疫委員急派方支那當局ヨリ電請アリタル趣ヲ以テ右至急措置方「ドラモンド」宛電報アリ「ド」モ支那ニ於ケル外國人居居住地域及同國隣邦ヘノ疾病傳播防

止ハ最大急務ナリトナシ去ル二十一日不取敢英國印度省大臣ニ對シ右委員支那派遣費用支出方同省ニ於テ詮議アリタキ旨並ニ日本「印度支那」蘭領印度「マレー」聯邦ヨリモ同種委員ヲ派遣スルニ至ラン事ヲ希望シ居ル旨ノ私電ヲ發シ本件ニ關スル英國政府ノ考慮ヲ促シ居ル趣ナリ尚「ラ」ハ米國ニ於テ本件ニ付同國政府ト何等打合ヲ爲シ居ル由本件ニ付テハ本邦トシテモ關係スル處鮮カラス當局ニ於テモ或ハ既ニ何等御考慮中ノ事カトモ察セラレ旁右杉村次長トモ話合ノ上本件今後ノ進展振り隨時内報方同次長ニ依頼シ

廿五日宋子文ト會見シタル處宋ハ先ツ新聞情報等ニ依レハ日本天皇陛下ニハ民國ノ水災ニ御同情ヲ賜ハリ救恤金ヲ御下附アラセラルトノコトナルカ右ハ自分始メ民國側ニ非常ナル感動ヲ與ヘタリト述ヘタル上尙自分ノ管理スル救濟委員會ハ内外人ヲ網羅シ廣汎ナル組織ヲ有シ民國政府ノ正式任命ニ係ルモノナルカ若シ日本天皇陛下ノ御救恤金等力同會ニ御交附アルコトモナラハ感謝ノ意ヲ表スル(二字分アキ)モ有效適切ノ處置ヲ執ルヘシト述ヘタリ

右ニ對シ本官ハ今回ノ水害ニ對スル日本ノ同情ハ全ク自發

1005 昭和6年8月26日 在中国重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

在中日本人の救済につき漢口總領事より意見具申

第七九七號(極秘)
漢口發本使宛電報
第三九五號(廿二日後)
外務大臣へ轉電アリタシ
第五六一號ノ一

的ノモノニシテ陛下ノ大御心ハ勿論其他赤十(字)社ヲ始メ各方面ノ團体ハ凡テノ行懸ヲ捨テ人道上ノ見地ヨリ救濟運動ヲ起シツツアリ赤十(字)社同仁會ノ如キハ現ニ着々救護計畫ヲ進メ居リ滿鐵モ充分之ニ盡シタシトノ考ナル力如シ右ハ何レモ人道上善隣ノ同情ヲ表サントシ居ルモノナルカ唯上海ニ於テハ排貨運動續行ノ此際救濟事業ニ努力スルコトハ却テ民國側ヨリ僻ミテ考ヘラルコトヲ惧レ居ル向モアル趣ナリト述ヘタルニ宋ハ右日本側ノ各方面ノ同情ハ必スヤ民國側ニ非常ニ良好ナル反響ヲ與フルコト勿論ナリ尙排日運動ノ如キハ間モナク跡ヲ斷ツコトナルヘク約一週間前自分ト張群トハ上海ニ於テ蔣介石ニ對シ排日運動ヲ阻止セサルヘカラサルコトニ付極力進言シ其結果ハ着々現ハレ居レリ加之水災ニ對スル日本ノ右ノ如キ人道上ノ見地ニ立チタル自發的ノ運動ハ日民兩國民ノ感情ノ阻隔ヲ融和スルニ大ナル力アルヘク又自分トシテハ今後右ノ方面ニ之ヲ利用スルコトニ益々努力シタシト考ヘ居ル次第ナリト述件ヘタリ

的ノモノニシテ陛下ノ大御心ハ勿論其他赤十(字)社ヲ始メ各方面ノ團体ハ凡テノ行懸ヲ捨テ人道上ノ見地ヨリ救濟運動ヲ起シツツアリ赤十(字)社同仁會ノ如キハ現ニ着々救護計畫ヲ進メ居リ滿鐵モ充分之ニ盡シタシトノ考ナル力如シ右ハ何レモ人道上善隣ノ同情ヲ表サントシ居ルモノナルカ唯上海ニ於テハ排貨運動續行ノ此際救濟事業ニ努力スルコトハ却テ民國側ヨリ僻ミテ考ヘラルコトヲ惧レ居ル向モアル趣ナリト述ヘタルニ宋ハ右日本側ノ各方面ノ同情ハ必スヤ民國側ニ非常ニ良好ナル反響ヲ與フルコト勿論ナリ専排日運動ノ如キハ間モナク跡ヲ断ツコトナルヘク約一週間前自分ト張群トハ上海ニ於テ蔣介石ニ對シ排日運動ヲ阻止セサルヘカラサルコトニ付極力進言シ其結果ハ着々現ハレ居レリ加之水災ニ對スル日本ノ右ノ如キ人道上ノ見地ニ立チタル自發的ノ運動ハ日民兩國民ノ感情ノ阻隔ヲ融和スルニ大ナル力アルヘク又自分トシテハ今後右ノ方面ニ之ヲ利用スルコトニ益々努力シタシト考ヘ居ル次第ナリト述件ヘタリ

今次ノ大水災ニ依ル當地在留人ノ被害ハ今後浸水狀態ノ長引振如何並ニ暴風雨襲來ノ事情等ニ依リ決定セラルヘキモノナルカ本官ノ今日見ル所ヲ以テスレハ會社側並ニ個人ノ商品器具機械自動車、建物土地等其所有財產ニ對シ蒙リタル水災直接ノ損害ノミニテモ思フニ既ニ一五〇萬元ニ上ルヘク他ニ浸水ニ伴フ各自ノ臨時支出ハ兎モ角トシ商賣ノ不能、取引ノ停頓等ニ基ク間接的損害ニ至リテハ到底容易ニ推測ノ限りニ非スニ民團、領事館、海軍、同仁會醫院、江漢中學校等ノ損失ヲ加フル時ハ邦人關係ノ財產上ノ直接

損害合計ハ恐ラク優ニ二百萬元ヲ超過スヘキヤニ察セラル

漢口發本使宛電報第三九五號ノ二

大臣へ轉電アリタシ

第五六一號ノ二

就テハ本省其他ニ於テ夙ニ御考究中ト認メラル國際的ノ問題即チ此際罹災中國人ニ對シ金品又ハ醫療ヲ以テスル廣汎ナル救濟ノ外本官トシテ當地在留邦人ノ救濟問題ヲモ同様若ハ夫レ以上ニ重要視セサルヲ得サル次ニ第二テ而モ右ニ付テハ食糧品燃料藥品等目前必需品ノ供給極メテ大切ナルニ相違ナキモ此點ハ幸ニモ既ニ大方ノ同情起リ各地民團等ノ有力ナル援助モアル爲浸水狀態更ニ豫想外ニ永引カサル限り大体ニ於テ當地民團ニ委セ置クモ不自由乍ラ取賄ヒ得ヘキモ一層困難ナル問題ハ寧ロ窮迫セル當地在留民特ニ所謂土着ノモノノ復活策ニアリト存セラル民團ヨリモ纏テ種々ノ希望ヲ取次キ來ルヘク之ニ伴ヒ改メテ篤ト本省ノ御考慮ヲ仰カサルヲ得スト思料シ居ル處右ノ内四三事件ノ場合ノ如ク業務復活ノ爲新ニ低利資金ノ貸下ヲ行フカ如キハ假リ二今日實現ノ可能性アリトスルモ

漢口發本使宛電報

第三九五號ノ三

外務大臣へ轉電アリタシ

第五六一號ノ三

經驗上ヨリ見テ取扱ニ困難多キノミナラス累ヲ將來ニ貽シ總シテ面白カラスコノ方ハ思フニ現在民團ニ保管スル低利預金中ヨリ相當ノ制限ノ下ニ例ヘハ商品擔保等ノ輕減ニテ特ニ貸出ヲ實行セシム程度ニ貸下命令條項ノ臨時變改ヲ認ムル以上ニハ出ツヘカラサルカ如ク況ヤ進テ此際見舞金式意味合ニテ各人ニ一樣ニ若干ノ金額ヲ交付スル力如キハ特別ノ意義アル資金ノ場合ヲ除キ頗ル實情ニ適セサルノミナラス精神的ニモ好マシカラスト云フヘク（此際近ク漢口事件ニ依ル賠償金ヲ入手シ得ルモノ鮮カラサルハ誠ニ「タイムリー」ナル救恤ニ外ナラス）結局今後商賣上ノ見込ニ乏シク到底立行キ難シト認メラルモノニ對シテハ民團ニ於テ適當ニ詮衡シ已ムヲ得サル貧困者ニハ旅費ヲ給與シテイムリー」ナル救恤ニ外ナラス）歸國セシムル外良策トテモ無之次第ナルカ（右實行ノ場合歸國者ノ數左ノミ多カルヘシトハ想像セラレス）

漢口發本使宛電報第三九五號ノ四

外務大臣へ轉電アリタシ

第五六一號ノ四

右様ノ事情ナルニ依リ今後本省ニ於テ御詮議ノ結果若ハ之ニ併セテ本省御斡旋ノ下ニ一般民間ヨリ若シ相當ノ救濟金寄附金等ノ送付ヲ受ケ得ル様ノ場合ニハ其金額ニモ依ルコト乍ラ一概ニ食糧品等ノ現品給與ニ偏セス事情ノ許ス限り之ヲ集メテ相當金額ニ纏ル迄待チ其ノ上ニテ一括シテ當地民團ニ御交付相成ルヲ得ハ本官監督ノ下ニ之ヲ在留邦人全部ノ福祉ノ爲ニスル租界全体ノ復舊ヲ目的トシテ漢口ヲ邦人ニ執リテ「住ミ得ヘキ」土地タラシムル作業ニ支出セシムルヲ得ヘク一般在留民救濟策トシテ見ルモ却テ有效適切ナルヤニ愚考セラル勿論在留邦人在リテノ民團ニシテ邦人ノ復活ハ當然民團ノ復活ヲ伴フヘキモ疲勞甚シキ當地在留民力如何ニシテモ今後急ニ隆盛ニ赴クヘシトハ思ハレサル處永ク民團ノ諸事業ヲ停止シ得サルコトモ明瞭ニテ今次水災ニ依ル民團ノ損失ハ特ニ大ナルモノアリ

漢口發本使宛電報第三九五號ノ五

大臣へ轉電アリタシ

第五六一號ノ五

既ニ防水ノ費用ニ約二萬元支出シタル今日防疫其他ノ費用

御高配ヲ仰キ置キタク右ハ全然本官限リノ思付ニテ且ツ種々早マリ過キノ嫌ナキニアラサルモ何等御参考迄長文ヲ厭ハス電報ス因ニ廿日東京發聯合通信ニ依レハ漢口銀行取締役入江湊氏ハ目下東京ニテ各方面ニ運動シ邦人並中國人ノ水害救濟方熱心奔走中ノ由ニ付民團當局ニ問合セタル處同氏ハ毎年ノ例トシテ夏季中内地ニ歸還シ居タル力會々大水害ノ報ニ接シ全然個人ノ考ヲ以テ奔走シ始メタルモノト覺シク通信ノ傳フルカ如ク在留民ヲ代表スルモノニアラサルノミナラス當地本邦人中ニハ將來ハ別トシテ差當リ此種運動ヲ起サントスル氣配ヲ認メサル趣ナリ

1006

昭和6年8月26日 在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

國務會議における米国小麦購入および賑災公

債発行決議に対する立法院の見解について

南 京 8月26日後発
本 省 8月26日後着第五〇〇號
往電第四九三號ニ關シ

南 京 8月27日後発
本 省 8月27日後着
第五〇四號
往電第五〇〇號後段ニ關シ

二十六日ノ立法院本會議ハ「國民政府民國二〇年賑災公債條例」ヲ通過セルカ右ニ依レハ本件公債ハ發行額八千萬元

年利八分トシ本年九月發行民國三十年八月迄ニ捲菸稅收入中ヨリ若シ不足ノ場合ハ菸酒印花稅收入中ヨリ元利ヲ償還スルコトナリ居レリ委細郵報

支へ轉報セリ

北平、上海、奉天へ轉電シ漢口へ暗送セリ

1008 昭和6年8月31日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

蔣介石の來漢は共產黨暴動鎮压に関する方針
指示にあるところ水害対策についても財政部
に対し資金支出など命令について

上 海 発
本 省 8月31日後着

廿五日ノ國務會議ハ宋子文ノ提案ニ基キ全國水害救濟ノ爲(一)米國ヨリ麥粉七百五十六萬擔ヲ購入スル代金及運賃トシテ銀四千萬元ヲ政府ヨリ支出スルコト(二)財政部ノ計畫ニ係ル賑災公債一千萬元ヲ不取敢發行スルコトヲ決議セル趣ナルカ他方同日開催セラレタル立法院財政及經濟兩委員會ノ聯合會議ニ於テハ今回ノ水害ハ古今未層有ニシテ一千萬元位ノ公債ニテハ燒石ニ水ノ感アルヲ以テ捲煙稅ヲ擔保トン若シ不足ノ場合ハ鹽稅收入中ヨリ之ヲ補足シ八千萬元ノ公債ヲ至急發行シ(一)罹災者ニ分配スルト共ニ(二)罹災者救濟ノ爲土木工事ヲ起シ(三)外國ヨリ食糧ヲ購入スヘシトノ議論出テタルカ結局本廿六日立法院臨時本會議ヲ招集討議スルコトトナリタル趣ナリ

公使ヨリ上海へ轉報ヲ請フ
公使、北平、奉天、漢口へ轉電セリ1007 昭和6年8月27日 在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)立法院本會議を通過した八千萬元の賑災公債
条例について

第八三八號
漢口發本使宛電報
合第一五七號
第五九〇號
往電第五八四號ニ關シ

蔣今回來漢ノ目的ハ表面武漢ノ水災視察ヲ名目トセルモ主タル用務ハ洪水以來懸念サレツツアル共匪暴動ノ鎮壓並ニ民心安定策ニ就キ武漢防禦督辦徐源泉、夏斗寅等諸將領ニ對シ親シク其方針ヲ指示スルニアルモノナルヤニ認メラレ時節柄上陸ヲ見合セ其後依然軍艦永綏内ニ起居シ黨部省市政府其他各方面ヨリノ報告ヲ受ケツツアル趣ノ處今回ノ防水其他一般水災ニ對スル省主席何成濬ノ措置ニ就テハ鮮力ラス不滿ヲ抱キ居ルモノノ如ク衆人ノ前ニテ面責セル趣ナリ而シテ今後ノ水災對策ニ就テハ差當リ(一)財政部ニ電報シ漢口中央銀行ヲシテ三十萬元ヲ支出セシメ必要ノ資金ニ當ツル事(二)湖南江西ノ兩省ニ電命シテ米ノ移出ヲ解禁スル事(三)一兩日内ニ湖北各界ヲ召集シ水災救濟ノ根本辦法ヲ商議スル事ノ三項ヲ決定シ總商會主席賀衡夫等ニ之ヲ同示セル

由尙蔵今後ノ動靜ニ就テハ極秘ニ付シ居ルモ確聞スル所ニ
依レハ當地ニハ永ク滯在ノ意圖ナキ趣ニテ事情ニ依リ兩三
日内二飛行機ニテ長沙ニ赴キタル上可成速ニ江西ニ引返ス
事トシ既ニ飛行機ヲ準備シ居レリト

支ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ
前電ノ通轉電暗送セリ

北平、奉天、廣東、蘇州、南京、蕪湖、九江、漢口、長沙、
沙市、宜昌、重慶ヘ轉電シ上海ヘ轉報セリ

1009 昭和6年9月(2)日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛 (電報)

天皇陛下の見舞金宋水災委員長に交付について
第八四七號

本省 9月2日後着 上海 発

本省 9月4日後着 南京

中國人水害罹災民救恤ノ爲天皇陛下ヨリ御下賜アリタル金
十萬圓ハ先方ノ希望ニ依リ暫ク本使ノ手元ニ保管シ居タル
カ本二日之ヲ墨銀ニ換算シ(銀二十二萬六千九百五十弗)
國民政府救濟水災委員會長宋子文ニ交付セリ右水災同情會
ニ御傳ヘヲ請フ委細郵報

漢口ヨリ長沙、沙市、宜昌、重慶ヘ轉電アリタシ

1010 昭和6年9月(4)日 在南京上村領事より
幣原外務大臣宛 (電報)

米国小麦購入および賑災公債に関する国民政
府臨時政治會議決議について

本省 9月4日後着 南京 発

第五一八號

往電第五〇〇號ニ關シ

三日ノ臨時政治會議ハ米國小麦購入ニ關シ左ノ通決議セル
趣ナリ

(一)數量ハ四十五萬噸トシ右一半ハ麥粉ニテ差支無シ(二)價格
ハ米國積出當日ノ市價ニ依ル(三)本年九月ヨリ毎月少クトモ
五萬噸ヲ輸送スル事四代金ハ桑港又ハ紐育ニ於テ民國二十
三年乃至二十五年ノ各年末ニ三分ノ一宛支拂ヒ且積出ノ日
ヨリ年四分ノ利子ヲ附ス(五)米國西海岸ヨリ米國船ニ依リ輸
送シ運賃ハ其ノ他ノ各國ノ船舶ニ比シ高カラサル事(六)運賃

及保險料ハ國民政府ニ於テ負擔ス(七)本件小麥ハ全部今回ノ
長江及各地浸水地域ニ於ケル慈善事業ニ使用ス

漢口 9月4日後発 本省 9月5日前着

尙往電第五〇四號立法院ノ賑災公債八千萬元發行決議ニ關
シ宋子文ハ財政難及該公債償還基金保管方法ノ妥當ナラサ

ル事ヲ理由トシ往電第五〇〇號國務會議ノ決議通り一千萬
元發行方主張シ立法院對宋子文ノ關係懸念セラレタルカ二
日ノ政治會議ハ双方ノ主張ノ中間ヲ取リ(一)公債額ハ八千萬
元トスルモ分割發行シ(二)元利ハ財政部ノ指定スル國稅中ヨ
リ支拂ヒ(三)公債ノ收入及償還基金ハ前例ニ依リ財政部ニ於
テ辦理スル事ニ決定セル趣ナリ

委細公信
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

支、北平、奉天、漢口ヘ轉電セリ

1011 昭和6年9月4日 在漢口坂根總領事より
幣原外務大臣宛 (電報)

天皇陛下見舞金には感謝するも反日運動は続
行すべしとの武漢日報記事について

本官ヨリ當地行營主任何成濬ニ對シ之力取締方嚴重要求中
依ル反日宣傳振ハ隨時報告ノ如ク平素頗ル激烈ニシテ既ニ
本官ヨリ當地行營主任何成濬ニ對シ之力取締方嚴重要求中

ノ事情モアルニ依リ之カ一般的改善方ニ關シ適宜中央ノ注意ヲ喚起セラルコトヲ得ハ至極好都合ト存ス

本電別電ト共ニ支、北平、奉天、南京へ轉電セリ

~~~~~

1012 昭和6年9月(5)日 在漢口坂根總領事より

幣原外務大臣宛(電報)

天城丸積載の中国水災同情会慰問品に対する

課税免除につき意見具申

漢口 発  
本省 9月5日後着

第六〇八號 本官發支宛電報第四一〇號

東京二日發聯合通信ニ依レハ天城丸ハ中國水災同情會ヨリノ慰問品ヲ滿載シテ十日横濱發漢口ヘ急行スルコトトナリ

居ル趣ノ處右ニ關シ當地海關勤務江原幫辦ヨリ左ノ通電話  
越セルニ付御参考迄電報ス既ニ上海ニテ御取計ヒ濟ノコト  
トハ存スルモ慰問品ノ無稅通關方ノ外ニ更ニ噸稅ノ免除ヲ  
モ併セテ財政部當局ヘ御申入レノ上當地稅務司又ハ海關監  
督宛財政部當局ヨリ電訓セシメラルルカ又ハ護照ヲ取付送

~~~~~

1013 昭和6年9月(6)日 在ニューヨーク首藤商務書記官より

幣原外務大臣宛(電報)

对中国小麦売却交渉妥結に關する米国大統領

發表について

ニュー・ヨーク
本省 9月6日前着

第六四號 商電

對支小麥賣却交渉成立ノ旨四日大統領ヨリ發表セラル細目
ハ大體既報ノ通りニテ數量ハ約千五百萬「ブツシエル」
(四十五萬噸)一九三四年ヨリ三ヶ年ノ年賦支拂(四步利
付)右ノ内約半額ハ製粉トシテ積出ス見込尙運送ハ支那側

付セラルニアラサレハ同船當地到着ノ上ハ海關トシテハ
手續上頓稅ヲ徵收セサルヲ得サル仕儀トナルヘシ尤モ船ノ
到着後頓稅ノ拂戾シ方ヲ交渉セラルモ可ナルヘキモ斯テ
ハ海關側ト話合ノ付ク迄陸揚ケ遲延スヘキ恨少ナカラス云々

ト
大臣へ轉電シ支ヨリ上海へ轉報アリタシ

持ナルモ傭船契約ニハ米國船モ他國船ト平等ノ機會ヲ與ヘ
ラルヘク又救濟ノ必要上本月中ニハ最初ノ輸送ヲ見ルヘク
少クトモ毎月五萬噸ノ積出豫定ナル趣ナリ

本邦產綢物市況休日ヲ控ヘ一般ニ閑散ナル處羽二重綢紬共
ニ前週ニ比シ商内一層少シ相場不變

レ我等商人ニ之カ購入運搬ヲ委セラレタシ云々ト請願シタ
ル趣ナリ尙右ニ關シ七日ノ當地時事新報ハ社説ニ於テ「米
國小麥ヲ購入スルヨリ滿洲ノ過剩雜穀ヲ利用スルハ國民經
濟上有益ナルニ付水災公債ヲ引當テニスル等臨機ノ方法ニ
依リ速ニ救濟策ヲ講スルヲ要ス」ト論評セリ

北平、奉天、漢口、南京へ轉電シ支へ轉報セリ

1014 昭和6年9月(7)日 在上海村井總領事より

幣原外務大臣宛(電報)

水害救濟のためには米国小麦購入より東北の
過剩雜穀利用が有利との上海市商会より国民

政府に申入れについて

上海 發
本省 9月7日後着

第四六四號

1015 昭和6年9月(9)日 在ジユネーヴ三全權より

幣原外務大臣宛(電報)

國際連盟總会における中国水害救濟決議に対

し贊意表明について

ジユネーヴ
本省 9月9日前着

第八號

水害救濟米國小麦購入問題ニ關シテハ上海市商會ハ五日附
國民政府宛電報ヲ以テ大要米國小麦ハ恐ラク救濟ノ間ニ合
ハサルヘキ處東三省ハ本年特ニ豐作ニシテ雜穀ノ過剩五百
萬噸ニ達シ價格亦低廉ナル由ニ付政府ニ於テ其大豆及高粱
等ヲ安價ニテ供給シ且稅關及鐵道運賃ヲ減免スル様取計ハ

ハ御内帑金ノ御贈與アリタル外水災同情會ノ組織セラレタ
ル等既ニ着々救助事業ヲ實行シツツアル次第ナルヲ以テ同
提案ニハ固ヨリ衷心贊意ヲ表スルモノナルコト及各聯盟國
ニ於テモ此種「ソリダリテ」ノ精神發現ノ舉ニ贊セラレン
コトヲ希望スル旨述ヘ置キタリ

1016 昭和6年9月16日 在中国重光公使より

幣原外務大臣宛（電報）

中国水害救済のための我が方人員派遣要請に

は出来るだけ応じるよう意見具申

本省 9月16日後着 上海 発

第九四六號

水災救助ニ付テハ民國側ニ於テ最モ實力アル宋子文ヲ中心
トシ多數多方面ノ人々之ニ關係シ居ル次第ナルカ日本側ノ
遲滯ナク行ハレタル救濟申出ハ機宜ニ適シタルノミナラス
他國側ニ比シ着々實行セラレツ、アル點ニ於テ民國側ニ對
シ非常ニ好感ヲ與ヘ居ル模様ナリ本件救済ハ大事業ナルト
共ニ重要ナル政治問題ニモ關聯スル譯ニテ將來ハ其影響多

方面ニ及フ事ト思考セラル從テ救濟ニ關係セル日本側各方
面ノ人士ノ實際的仕事力甚タ重要ノ意義ヲ有スル事勿論ナ
ルカ他方國際聯盟關係者ハ「ライヒマン」ヲ中心トシ大イ
ニ力ヲ入レツツアリ又米國側モ「グランド」（一應歸平セ
リ）ヲ中心トシ熱心之ニ當リツツアリ國際聯盟ニ於テ屢々
問題トナレル民國側各方面ニ日本人顧問ヲ入ル、事ニ付テ
モ右ニ重要ノ關係ヲ有スル宋子文カ今回ノ救濟事業ノ中心
人物タル關係上此際日本人側ノ遣方如何ニ依リテハ將來有
利ニ展開スル事アルヘシ

以上ノ關係アルヲ以テ民國側申出ノ人員派遣等ニ付テハ出
來得ルタケ先方ノ希望ヲ容ル、事然ルヘク累次電報ヲ以テ
稟申ノ件ハ同情會等關係方面トモ御協議ノ上遲延ナク御同
電相煩シタシ

尙同仁會ノ活動ハ民國側ノ機關ト充分聯絡及協調ヲ保チ我
方ノ全體的立場ヲ有利ニスル様特ニ注意ヲ要スル事前電申
進メノ通ナリ

漢口、奉天、北平へ轉電シ南京、上海へ轉報セリ

1017 昭和6年9月17日 在ジユネーヴ三全權より
幣原外務大臣宛（電報）

連盟總会第二委員会で採択された中国水害救

濟援助に関する決議案について

別電 九月十七日着在ジユネーヴ三全權より幣原

外務大臣宛第三四四号

右決議案

ジユネーブ 発

本省 9月17日後着

第三三號 往電第二號ニ關シ

中國水災救助決議案日英佛協議ノ上佛國代表ヨリ第二委員

會ニ提出セラレ我方ヨリ更ニ貴電第三號ノ御趣旨ニ依リ之

ニ修正案ヲ提出シタルカ支那側モ之ニ同意ヲ表シ本十六日
委員會ハ右修正案ヲ容レ大要別電第三四號ノ決議ヲ採擇セリ

振りについて

1018 昭和6年9月18日 在中国重光公使より

幣原外務大臣宛（電報）

深尾慰問使に対する上海における中国側歡迎

本省 9月18日前着 上海 發

深尾慰問使十七日着民國側ヨリハ朱慶瀾、曾宗鑑、王一亭ヲ初メ特ニ宋子文ヨリ派遣セラレタル代表並ニ孔祥熙代表其他多數埠頭ニ出迎ヘタリ十八日ハ孔祥熙ノ深尾男歡迎茶話會アリ日民兩國關係者多數招待セラレ宋子文モ同日南京ヨリ來滬出席スル趣ナリ

漢口、奉天、北平ニ轉電シ南京、上海ニ轉報セリ

タル爲右交付手續ハ一時延期トナレリ深尾代表ハ宋ノ歸来遲ルル場合ニハ其代表者トノ間ニ交付手續ヲ了シタシトノ意向ニテ目下曾宗鑑ト打合中ナルカ何レニスルモ天城丸ノ出帆ハ一兩日遅延ノ見込ナリ不取敢

同情會ニ御傳アリタシ

漢口、南京ヘ轉電シ上海ヘ轉報セリ

1019 昭和6年9月(21)日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

宋子文急用にて南京に赴き天城丸積載救恤品の正式交付手続延期について

本省 9月21日後着 上海 発

第九九六號 貴電第三六六號ニ關シ

天城丸二十日入港二十一日宋子文其他民國側關係者ヲ同船ニ招シ貨物ヲ一覽セシメタル上深尾宋間ニ正式交付ノ手續ヲ了シ直ニ漢口ニ向ケ出帆シ同地ニテ現實ノ引渡ヲ爲ス様先方ト打合済ナリシガ宋子文急用ニテ二十日夜南京ニ赴キ未タ進行シ居ラス

城丸貨物等ハ速ニ貰ヒ受ケ度シトノ意向ヲ有スルモ何分一般民衆間ニハ漢口發閣下宛電報第六六三號ノ如キ空氣モアルコトヲ考慮シ居ル模様ニテ且宋子文ハ引續キ南京ニ在リ曾宗鑑ハ病氣引籠中ナル爲往電第九九六號以來引渡ノ打合未タ進行シ居ラス

南京、漢口ニ轉電セリ

上海ニ轉報セリ

1021 昭和6年9月(24)日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

宋子文が日本側慰問品の受け取りを拒絶する旨の書簡を発したとの新聞報道について

本省 9月24日前着 上海 発

第一〇一六號 往電第一〇一〇號ニ關シ

深尾代表ハ朱慶瀾等ト協議ノ結果朱ヨリ宋子文ニ宛テ天城丸貨物引取方電報スルト共ニ深尾代表ヨリモ二十二日宋ニ對シ「打合通り速ニ貨物ヲ引渡シ度キニ付貴下來滬不能ナ

1020 昭和6年9月(23)日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛(電報)

満州事變勃發のため天城丸積載救恤品の引渡し遅延状況について

本省 9月23日前着 上海 発

第一〇一〇號 往電第九五五號ニ關シ

宋子文ハ喪中ニモ拘ハラス二十一日本使及深尾船津兩代表其他關係者ヲ非公式晚餐ニ招待シ居タルカ滿洲事件勃發ノ爲其前夜南京ニ急行シタル爲右招宴モ中止トナレリ尙民國側關係者ハ滿洲事件ト救濟事業トハ別問題ナレハ天

レバ代表者ヲ指定アリタシ」ト電報セル處宋ヨリハ同日折返シ「御返事ハ手紙ニ認メ今晚發送セル」旨回電セリ右手紙ハ未ダ接倒セザルモ本二十三日ノ英字紙ハ二十二日南京來電トシテハ宋ハ深尾男ニ宛テ「最近ノ滿洲ノ事態ハ支那ヲシテ日本ノ救恤品ヲ受領シ得ザルニ至ラシメタルコトハ御諒察ノコト存ズ

日本天皇陛下ノ御下賜金及今同ノ救恤品寄贈ニ依リ示サレタル日本國民ノ同情ハ感謝ニ堪ヘザル所ナルガ今回ノ軍閥ノ行動ハ民國人ガ一大災厄ニ遭ヒ數千萬人饑餓ニ瀕シ居ルトキニ際シ之ニ攻撃ヲ加ヘタルモノニシテ右日本民衆ノ人道的感情ヲ嘲弄スルモノト云フベシ假令民國側ニ於テ貴下ノ救護品ヲ受ケ容ルタルモノ難民ハ之ヲロニスルヲ難シトスベクスケテハ日本民衆ノ眞摯ノ同情ヲ裏切ルコトトナルベシ」トノ書翰ヲ送レル旨報シ居リ右ハ恐ラク事實ナルベシト考ヘラル尤モ深尾代表ハ瀕澤會長一派及貴電第三四七號ノ次第モアルニ付更ニ宋並ニ他ノ委員會關係者ニ對シ救恤品受取方ヲ一應說得スル筈ナルガ目下ノ情勢ニテハ結局引渡シ得ザルコトナルベシト豫想セラレ從テ其場合ハ瀕澤會長第二電ノ趣旨ニ依リ適宜措置スルコト已ムヲ得ザ

ルベシ尙慰問金十万圓ハ未ダ先方ニ交付シ居ラズ以上同情
會ニモ御傳ヘヲ請フ

漢口、南京ニ轉電シ

上海ニ轉報セリ

1022 昭和6年9月26日 在中國重光公使より
幣原外務大臣宛（電報）

深尾代表帰朝天城丸も積荷のまま門司に回航

について

上 海 発
本省 9月26日後着

第一〇四二號

往電第一〇一六號ニ關シ

宋子文來翰接到セルモ内容ハ右電報所報ト同一ナリシニ付
深尾代表ヨリ更ニ電報ニテ宋ノ再考ヲ求ムルト共ニ朱慶瀾
ヨリモ電報ヲ以テ受取方勸説セシメタルカ右ニ對シテハ宋
ヨリ今日迄回答ニ接セス深尾代表ハ已ムヲ得ス本廿六日長
崎丸ニテ歸朝シ（長崎經由東京ニ直行ノ由）天城丸ハ積荷
ノ儘本日午後一時出帆門司二回航スルコトトナレリ（慰問

金十萬圓モ交付セス）尙船津副使ハ當地滯在中ニテ必要ノ
後始末等ハ同氏ニ於テ適宜措置スル筈

漢口、南京ニ轉電シ上海へ轉報セリ

1023 昭和6年9月28日 在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛（電報）

宋子文により發表された米國との小麦購買契

約について

上 海 発
本省 9月28日前着

第五五三號

二十七日當地新聞ハ國民政府水災委員會長宋子文ハ二十六
日午後米國ト締結セル小麥購買契約ノ全文ヲ發表セル旨報
シタルカ右契約ハ八ヶ條ヨリ成リ（購買小麥總數四十五萬
噸（場合ニ依リ其半數迄麥粉ヲ以テ換フルコトアルヘシ）
ヲ明年三月迄ニ分割輸入スルコトトス（價格ハ積出當時ノ
積出港ニ於ケル時價ニ依ルコト）代金ハ米弗ヲ以テ紐育ニ
テ支拂フコト（利息ハ年四分トシ元利ヲ三期ニ分チ一九三
四、五、六年未ニ於テ夫々支拂ヲ爲スコト米國船優先輸送

權ヲ有スルコト等ヲ約シ居レリ全文郵送ス
支へ轉報シ南京へ轉電セリ

連盟保健機関による防疫専門家の派遣に関する連盟理事会決議について

在ジュネーヴ三全權より
幣原外務大臣宛（電報）

1024 昭和6年10月(2)日
往電第三四號ニ關シ

二十九日理事會ハ中國水災援助ニ關シ左ノ通決議ヲ採擇セ

リ

第一二九號

本 省 発
10月2日前着

ジュネーヴ

力ニ關スル民國衛生部ノ希望ニ應センコトヲ要求シ
切ノ國ノ政府ニ對シ出來得ル限リスル援助要請ニ應ス
ルコトヲ希望シ政府及民衆ニ對シ金錢上ノ寄附衛生醫
術上ノ人員並ニ材料ノ送付ノ必要ナルコトニ付注意ヲ
喚起シ事務總長力金錢上ノ寄附ヲ受ケ之ヲ救濟事業管
轄ノ當局ニ引渡ス事ヲ承認シ且事務總長ニ對シ其ノ決
議ヲ一切ノ國ニ通告スルト共ニ其ノ條項ヲ實施スルタ
メニ必要ナル措置ヲ執ルコトヲ求ム尙右決議案ニ對シ
事務總長ハ聯盟派遣ノ救濟事業指揮ノタメ專門家候補
者トシテ「サー、シムプソン」（聯盟委員トシテ希臘
避難民救濟ニ當レルコトアリ）「ライモンド、シユル
マア」（嘗テ聯盟避難民事業ニ從事セリ）ノ二名ヲ推
薦支那政府ノ選擇ニ委シタ旨提議シ可決セラレタリ

1025 昭和6年10月30日 在南京上村領事より
幣原外務大臣宛（電報）

水災救濟費用充當のための付加税徵収につき

一、理事會ハ中國水災ニ對シ同情ノ意ヲ表シ民國水災救護
班中央部ヲ指揮シ得ル聯盟ノ事業ニ經驗アル専門家ノ
推薦ヲ慤慮シ來リタル民國ノ申出ヲ了承シ更ニ一切ノ
措置ヲ採ラレンコトヲ要請ス

二、理事會ハ水災地方ニ於ケル傳染病ノ勃發力國際的危險
ヲ齎スコトヲ認メ保健機關ニ對シ傳染病防遏ノ爲ノ協

南 京 10月30日後発
本 省 10月30日後着

第六九三號

本官發支宛電報

大臣發貴公使宛電報第四四八號ニ關シ

廿日張福運ト會見シ本件ニ付確メタル處張ハ今回ノ水災救濟ニ要スル費用ハ約一億元見當ニシテ各方面ヨリノ寄附金

「クレヂツト」ニ依ル小麥購買及公債ノ發行ヲ以テ之ニ充

ツルコトセルモ尙不足ナルニ付外國人顧問ノ「サヂエス

ト」ニ依リ水災救濟會ニ於テ輸出入稅ニ對スル附加稅（關

稅其物ニ對シ一定率ヲ附加ス）徵收案ヲ立案シ右原則ハ既

ニ廿八日ノ中央政治會議ヲ通過シ立法院ニ廻付セラレタル

趣ナルカ本件ハ水災救濟會ノ仕事ナルニ付稅率等詳細ノ點

ハ自分モ良ク承知セスト答ヘタリ依テ本官ハ日華間ノ稅率

協定ニ付テハ貴官モ交渉當事者トシテ努力セラレタル次第

ナルカ萬一今回ノ附加稅ニ依リ右協定品目ニ影響ヲ及ホス

力如キコトアラハ再ヒ面倒ナル問題ヲ惹起スヘキハ貴官ニ

於テヨリ良ク御承知ノ筈ナリト述ヘタルニ張ハ自分モ其點

1026

昭和6年11月28日

昭和6年11月28日

在南京上村領事より
常原外務大臣宛（電報）

水災救濟付加稅章程案の立法院通過十一月一

日より実施について

南京 11月28日後発
本省 11月29日前着

第七九三號

本官發支宛電報

第七五一號

貴電第七五九號ニ關シ

二十八日關務署ニ就キ確メタル處救濟附加稅章程案ハ今朝

and interport surtax）ノ一割ノ水災救濟附加稅ヲ徵ス

（二）本附加稅ハ明年八月一日以降ハ海關稅率ノ五分トナシ米

國小麥粉借款ノ償還完了迄實施セラルヘシ

（三）保稅貨物ニ對シ延期ヲ許サス十二月一日以後保稅倉庫ヨ

リ庫出し輸入セントスル貨物ニ對シテハ附加稅ヲ課ス

（四）本附加稅ニ對シテハ戻稅ヲ發行セス

（五）左記輸入稅率番號ノ輸入品ハ附加稅ヲ免除セラルヘシ

一乃至九、一二、一四乃至一六、二二乃至二三、二五乃至

三一、三六、三九、四一、四三、四四、四六、五一、五九

乃至六一、六四、二四九ノa及b、二五〇、二五二、二五

五、二五六、二六二、二六五乃至二六七、三〇五ノa

公使ニ轉報シ北平、天津、青島、漢口、南京、廣東、關東

長官ニ轉電セリ

上海海關による水災救濟付加稅徵收通告について

上海 11月29日後着

本省 11月29日後着

1027

昭和6年11月29日

在上海村井總領事より
幣原外務大臣宛（電報）

當地海關ハ廿七日附ヲ以テ左ノ通り告示セリ

（十二月一日ヨリ明年七月卅一日ニ至ル期間一般貨物ニ對シ輸入稅輸出稅及移出附加稅（Interport duties

広東においては水災付加稅は実施せざとの同
稅務司談について

第八六三號

1028

昭和6年11月30日

在廣東須磨總領事代理より
幣原外務大臣宛（電報）

ヲ心配シ本件附加稅案ヲ一覽シタルカ日本トノ協定品目ニ
ハ影響ナキ様思ハレタリト答ヘタルニ依リ本官ハ更ニ稅率
交渉當時ノ話ヲモ「リマインド」シ此點ニ付テハ宋部長ニ
モ良ク説明シ問題ノ起ラサル様豫メ配慮アリタキ旨繰返シ
念ヲ押シ置キタルニ張ハ自分モ全然同シ考ナルニ付宋部長
ニモ充分話シ置クヘキ旨述ヘ居タリ

大臣へ轉電セリ

廣 東 發
本 省 11月30日後着

往電第二〇一號ニ關シ

上海發閣下宛電報第八六三號ニ關シ

第六六四號

三十日館員ヲシテ當地稅務司ニ就キ確メタル處同稅務司ハ實ハ十二月一日ヨリ本件附加稅實施方ニ關スル訓令ニハ接到セルモ當海關ニ於テハ理由ハ申上ケラレサルモ本件ハ布告モセス從テ實施セサルコトトシ居レリト語リタル趣ナリ右不取敢

支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

支、北平、南京、汕頭ヘ轉電シ香港ヘ暗送セリ

1029 昭和6年12月2日 在安東米沢領事より
幣原外務大臣宛（電報）

安東の日本商および憲兵隊長などによる水災

付加稅反対運動について

安 東 12月2日後発
本 省 12月2日後着

第二〇三號

尙分隊長ハ本官ニ對シ本件附加稅ノ不都合ヲ責メ海關告示ノ撤廢ヲ交渉方要求シタルカ海關側ニ對シテモ直接右ノ申入ヲ爲シタル趣ニテ本二日「トルボント」稅關長本官ヲ來訪シ右ノ次第ヲ絞シ自分トシテハ總稅務司ヨリノ通達ニ從ヒ行動スルノ外無ク告示ノ撤廢ノ如キ全然不可能ニ屬ス若シ憲兵隊ニ於テ實力ヲ行使セラルニ於テハ夫レ迄ナルカ分隊長ノ行動ハ果シテ日本軍部ノ意圖ニ基クモノナリヤ明白ナラスト述へ當惑ノ色ヲ浮ヘタリ依テ本官ハ「ト」ニ對シ不取敢副稅務司ヲシテ分隊長ニ對シ詳細海關ノ立場ヲ説明シ篤ト諒解セシムルコト肝要ナルヘシト告ケタルニ早速

右ニ從フヘシトテ引取りタリ何レ本件ニ關シ一悶著ヲ免力

レ得サルカ如シ

支、北平、奉天、牛莊、關東長官ヘ轉電シ天津、青島、哈爾賓ヘ暗送セリ

往電第二〇三號ニ關シ

一部商人ノ强硬ナル反対ト憲兵隊ノ誘惑トニヨリ海關側ニ於テハ其ノ措置ニ窮シタル結果本官ト協議ノ上大連關ノ告示發表迄一時實施ヲ差控ヘ他面驛當事者ニ於テ便宜通關申出ヲ見合ス事トシ以テ事態ノ紛糾ヲ防キタル處昨四日之等商民ハ大連ニ於ケル本稅實施ノ報道ノ爲已ムヲ得スト諦ムルニ至レルト共ニ憲兵分隊長ニ對シテハ本官ヨリ事情ヲ説明シ輕舉ヲ戒メタル結果本件附加稅ニ應スル事トナレリ支ヨリ上海、南京ヘ轉報アリ度シ

天津、青島、哈爾賓、牛莊ヘ暗送セリ

1030 昭和6年12月5日 在安東米沢領事より
幣原外務大臣宛（電報）

水災救濟付加稅に対する日本商などの反対運動

動収束について

安 東 12月5日前発
本 省 12月5日後着

第二〇六號